

令和4年度（2022年度）

管理事業名	難病支援事業				総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康			
						政策 4	健康・医療のまちづくり			
						施策 1	健康づくりの推進			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	4	衛生費	(項)	1	保健衛生費	(目)	10	保健事業費
部局名	健康医療部	予算執行 所属	地域保健課							
事業の目的と概要 【目的】 難病患者の療養上の不安解消を図るとともに、在宅療養に関する支援を実施。 【概要】 ・保健師による訪問指導事業（在宅療養等に関する相談や指導） ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等による訪問相談・指導事業（難病患者が抱える日常生活上及び療養上の悩みに対する相談や指導等） ・難病に関する講演会事業（難病に関する専門の医師等による講演会の開催等）										

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
訪問指導延件数	件	411	304	250	保健師による難病患者への訪問指導延件数
難病に関する講演会の案内に対する参加率	%	42.6	35.7	50.0	市域の難病講演会の案内文発送に対する参加者数の割合

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】訪問指導延件数についての評価 ・実施件数250件（前年比：54件の減） ・実施件数の減は、新型コロナウイルス感染症拡大による保健所全体の業務調整の影響が大きい。神経筋疾患をはじめとした進行性で重症度の高い疾患等、優先順位をつけた訪問実施となった。</p> <p>【成果指標2】難病に関する講演会の案内に対する参加率についての評価 ・参加率50.0%（前年度：14.3ポイントの増） ・WEB開催したところ、対象者（後縦靭帯骨化症で受給者証取得者等）62名に対し31名の視聴があり、一般公開を含む総視聴回数は439回で多くの人々が難病について学べる機会となった。なお、より多くの機会を提供するため、他にも北ブロックの各保健所と連携し広域での講演会も開催している。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】 ・特定医療費（指定難病）受給者証の新規・更新手続き事務について、大阪府への進達事務による府支出金として1件当たり550円の事務手数料収入があった。（令和4年度：2,669,000円）。</p>	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>訪問指導延件数については、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない通常業務に戻りつつあるため、引き続き在宅療養等で支援が必要なケースへの訪問指導を行う。</p> <p>講演会については、難病が希少疾患であることから疾患に関する情報等を得る機会が少ないため、引き続き近隣保健所等とも連携しながらテーマを選定し開催する。案内に対する参加率については、WEB開催により自宅等での参加が可能となった反面、ネット環境にない人は参加が難しいため、WEB開催も継続しながら会場開催（動画上映会）</p>	<p>も併用することで参加者の利便性を図り参加者増につなげる。</p> <p>難病患者を取り巻く社会の理解は十分とは言えないため、すべての難病患者が安心して暮らせる環境づくりに向け、市民に難病の理解を進める必要がある。市ホームページの他、SNSも活用し広く市民に難病に関する情報の周知啓発を図る。</p>
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	4,201	2,292	△1,909
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	4,201	2,292	△1,909
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	42,916	24,896	△18,019
事業用資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	42,916	24,896	△18,019
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	47,117	27,189	△19,929
有形固定資産	-	-	-	純資産	△47,117	△27,189	19,929
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
重要物品	-	-	-	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
重要物品	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	その他債権	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	資産の部合計	-	-	-
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	236	249	238	△11
府支出金(経常費用充当)	-	-	2,669	2,669
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	28	-	23	23
経常収入 小計(a)	264	249	2,930	2,681
経常費用				
給与関係費	44,553	53,539	39,382	△14,157
物件費	582	213	866	654
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	181	146	229	83
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,862	4,201	2,292	△1,909
退職手当引当金繰入額	32,148	17,268	△15,815	△33,083
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	81,326	75,366	26,955	△48,411
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△81,062	△75,117	△24,025	51,092
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△81,062	△75,117	△24,025	51,092
一般財源充当額	47,933	61,128	43,953	△17,175
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△33,128	△13,989	19,929	33,917

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】 国庫支出金 (経常費用 充当)	病患者地域支援対策推進事業費補助金 238千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
難病支援1件あたりのコスト	26,251円	22,167円	7,403円
実績	3,098人	3,400人	3,641人
コスト	円	円	円
実績			

分析 市内の指定難病患者数を算出し、1人あたり7,403円のコストとなっている。費用の多くを人件費が占めるため、年度ごとの人件費の増減による影響を受けやすい状況にある。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	264	249	2,930	2,681
行政サービス活動支出	48,197	61,377	46,883	△14,494
行政サービス活動収支差額	△47,933	△61,128	△43,953	17,175
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△47,933	△61,128	△43,953	17,175
一般財源充当額	47,933	61,128	43,953	△17,175
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	19,088	1,574	4.28
会計年度任用等	6,772	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	25,860	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.5	99.6	93.8	△ 5.8